



毎年、この時期、月日が経つのが駆け足のように過ぎていくように感じるのは年のせいでしょうか・・・。
それに引き替え子どもたちは、めばえさんは人見知りせず担任が見えなくても一人で過ごせるようになり
ふたばさんは皆で遊ぶ楽しさがわかるようになり、ふたばさんは鬼ごっこができるようになり、いぶきさんは
手伝わなくても自分の事ができるようになり、ひかりはなんだか自覚?ができてきました。
だいちドキドキしながらも1年生の顔に変わりつつあります。
それぞれ一人一人のお子様の大切な成長を振り返るとほっこり温かい気持ちになりますね。
2月はクラスでじっくり一年を振り返り、楽しかったことを再度挑戦しようと各クラスでの取り組みや生活の
見直しをしながら皆で大切な時間を過ごせました。
先日、担任二人からだいちさんからひかりさんに「ザリガニの飼育」の引き継ぎセレモニーがあります、と聞
いて、楽しみにしながら昼の会議をしていました。すると2階のテラスがざわざわ・・・担任が急いで見に行くと
「水はこうして変えます・・・」などの説明や入れ方のレクチャーが始まっていました。
だいちさんは自分たちで役割や時間を決め自主的に行っていたようです。
子どもたちの力にびっくり！でした。



2015年11月6日



2016年3月1日

こうしてかえで保育園の方針である子どもたち一人一人の個性を大切にに関わり、導いてきたことが少し結果として見えてきた一年でした。大切なお子様の「大きくなったこと」思い返す3月に行けたら素敵ですね。そして14名のだいちの子どもたちが胸を張って小学生になる日を笑顔で送り出せるよう大切に最終月を過ごします。

～かえでカフェ～

今年一年、かえでカフェにご参加の方々にはお世話になりました。お茶を飲みながらゆっくりと色々な話をする中で「お茶を飲みながら手も動かしたら?何か手伝うよ」の声から手作りのおもちゃの制作が始まり、ミシンや小物を作るお母さんの器用さに思わず、あれもして!これも!と欲張りなお願いをし、「いいよ」と言いながらあっという間に宿題が出来上がる毎日でした。
せいちょう発表会のオープニングの歌声のすてきな声に子どもたちも聞き入っていましたね。雪遊びのバスの中で「あさの～♪」と一人が歌いだすと全員が「空をみあ～げて♪」と大合唱!
家で練習してくれていたことが良くわかりました。リボンも手作り!すべてがみんなで作り上げた一年でした。ありがとうございました。28年度もこの皆さんでまた楽しいことしましょうね!
3月11日(金)17:00頃から“かえでカフェ楽しかった会”をします。どうぞ、ご参加ください!

～今年一年の振り返り～

今年は、様々なお手伝いがいただけたことで【土】をテーマに進めてきた遊びも子どもたちのやりたいことがたくさん実践できました。2回も園庭の土ならしをお手伝いして頂きありがとうございました。
28年度は開園した年に0歳児だったお子様が「だいち」になります。記念すべき一年のお祝いもしたいと考えています。お楽しみに!

保護者の方と共に28年度も「子どもたちにとって」を常に保育を組み立てていきたいと考えています。どうぞ、共に進めて頂けたら嬉しいです。よろしくお祈りします。

にこにこメッセージ♪

今年度、だいちぐみは、事前にクラスやグループで話し合いを行い「6月・10月・2月、四季折々の甲山に出かける」という目的を持った計画を立て、散策や登山を楽しみました。だいちぐみになると、こどもたちはクラス全体での話し合いができるようになり、様々な計画が成り立っています。担任は一人ひとりへの意思確認や流れは把握していますが、最近では結果だけを聞き、そこから次のことへの取り組みを行うこともあると聞いています。もちろんまだまだ幼児クラスのこどもたちですから違った方向に話がまとまることもあります…。相手の気持ちを考え、意見を言う子、話を最後まで聞ける子、内容を的確に報告出来る子、その時の内容で様々な意見が出ていますが、クラスの一員としての役割が活かされています。もちろん穏やかな話し合いばかりではありません。言い合いになり、泣き出す子もいますが、素直に気持ちをぶつけ合うことは、相手のことを知ることで素敵なことで、きつとつぎにつながるのだと思い見守っています。

年齢を重ねるごとに、色々考えることも増えていきますが、かえで保育園のだいちぐみのこどもたちは心が立派で自分のことも相手のことも大切にできることもに育っています。卒園を迎える月、まだまだこどもたちのすてきな姿を見つける時間を大切にしたいと思っています。

2月の甲山の園外保育、バスや帰りは予定外の電車にも乗りましたが、約9キロ歩きました。疲れたのは引率者の大人？私だけ？こどもたちは帰園後のおやつとちょっとした休息をとるとあっという間にいつもと同じように元気、私は、こどもたちからいつも元気をもらえることに感謝していますが、さすがに今回は疲れしました。年ですね・・・(笑)

主任保育士 藤森 寿美

～乳児ぐみからのお知らせ・お願い～

体調のすぐれない時は無理をせずゆっくりさせてあげてください。

～幼児からのお知らせ・お願い～

・暖かくなるのでロッカーの中の服で調節をしていきます。衣服の入れ替えをお願いします。

【せんせいからのおはなしコーナー】

11月に結婚式を挙げて、新しい生活になってもう4ヶ月が経ちました。

最初は、仕事をしながらご飯を作ったり、洗濯をしたり、掃除をしたり、、、、することがいっぱいになかなか家事を楽しむ余裕なんてなく、ただ一日が慌ただしく過ぎていくだけでした。時間が経つにつれて生活の流れにも少しずつ慣れてきて、今では料理を作ることが家事の中で楽しいと思えるようになってきています。

自分だけのためではなく誰かのために作る料理は、その人の好みを考えたり、栄養のあるものにしたいたいなと思ったり、盛り付けも少し凝ってみたり、誰かの喜んでくれる顔を想像しながら作る料理って楽しいな、もっと勉強したいなと思う毎日です。

今の目標は、冷蔵庫の中の物を見ただけでその日のメニューを考えて作れるようになることです！！仕事も家事も楽しむことを忘れずに頑張っていきたいと思います。

原田 千尋

ねらい：「新しい部屋に慣れ、楽しく遊ぶ」

う た：「はるがきた」「おはようのうた」「あがりめさがりめ」「イッチクタッチクタエモンサン」
昼間の気温も温かくなりすこしずつ春の気配を感じるようになりました。3月はどんどんふたばぐみのお部屋にもあそびに行くようになります。少し大きくなる来年度に向かって少しずつ慣れて行けるようにしていきます。手洗いも手拭から、水で洗うように始めていますが、少し一緒に手伝っただけで、自分から水道の所に行き、水を出そうする姿にいつもビックリさせられます。新しい部屋で楽しそうに遊ぶみんなの姿が思い浮かびとても楽しみです。

“はいどうぞ”



おままごとが本格化してくると、隣に座っているお友達を見つけると自分の持っているスプーンをお友達の口元に持ってきて「あーん」と食べさせてあげています。食べた子も「おいちー」と感想まで言っていていつもの食事の時の様子と同じでとても面白いです。前日の昼食にハンバーグが出た時には園庭あそびの際に、スコップとハンバーグの型を持って「アンバーグ（ハン

バーグ）おいちー」とお話しをしながら食べていました。日常の生活が遊びに繋がるようになってきていて成長を感じました。子どもにとって一つひとつの体験が遊びに繋がる大事なものと再確認でできた機会でした。

“なにしてるの？”



ふたばぐみのお部屋に行って遊ぶことも増えてき、関わりが多くなってきました。お兄ちゃんお姉ちゃんの様子をよく見ていて楽しそうなところにはすぐ近寄っていき、一緒に真似をして遊ぼうとします。園庭あそびの際には友だち同士で遊んでいるお兄ちゃんお姉ちゃんがいると後ろをついていき、「なにしてるのかな？」



じっと顔を見て、とても気になるようです。一緒に遊んでもらうとにこにこ顔でいつも以上に素敵な笑顔になります。自分から遊ぼうとしなかった遊びもお兄ちゃんお姉ちゃんがしていると、自分もやってみようとおもちゃに手を伸ばします。パカポコは最近ふたばぐみでも再ブームでよく乗って遊んでいるのでいます。がそれを見ていためばえぐみさん。パカポコを手に持ち、「乗るのを手伝ってと伝えてくれます。一人遊びのパズルなども自分で椅子に座り集中し、はめていく姿も見られるようになってきました。夕方には一人ずつ保育者と一緒に机と椅子の所に行き座り、パズルを邪魔される事のない空間で集中して遊べる時間を作っています。

す。

“担任の思い”

めばえぐみで過ごすのも残り1ヶ月になりました。4月と比べて出来るようになった事、発見した事がたくさんあります。一人ひとりの成長を近くで見ていると一緒に笑ったり、出来る事が増えるたびに一緒にみんな喜んで一緒にしてきたことが懐かしく感じます。今では保育者が伝えた言葉を聞き、ズボンを履く時や手洗いなど自分で出来ることも増えてきています。子どもたちの「したい」、「やってみよう」と言う気持ちを一番近くにいる私たち保育者が最後まで見守りながら過ごしていきたいと思います。ふたばぐみで楽しく過ごすみんなの姿がとても楽しみです。

～ふたばくみ～

ねらい： お友だちと楽しく遊ぼう。

う た：「はるがきた」「どんな色が好き」 わらべうた：「なべなべそこぬけ」

今のふたば組での生活も、はや 1 年が経とうとしています。春には泣いていた子どもたちが、今では友だちとニコニコと笑いあいながら遊んでいたり、自分で出来ることは「じぶんで！」と着替えや食事に取り組んでいる姿をみて、ひとりで出来ることがたくさん増えたと嬉しく思います。友だちや保育者との言葉のやり取りも出来るようになってきているので、お友だちとのやり取りを楽しめるあそびをしていきたいと思います。



～楽器に触れてみよう！～

先日のせいちょう発表会ではどんぐりマラカスの素敵な音色を聞かせてくれたふたば組。今月は、「鈴」にも挑戦してみました。持っているだけで「リンリンリン」と音が出る鈴に興味津々の子どもたちは、実際に鈴を持つと夢中で音を鳴らしたり、「かえるのうた」や「おばけなんてないさ」の歌を歌いながら楽しそうに鈴を鳴らしていました。「リンリンってなってるね～」「サンタさんのおと！」など一人ひとり感じ方も様々でした。ピアノに合わせて、自然にからだもゆらゆらと揺らしながら鈴を鳴らす姿がとても可愛らしく、また楽器に触れられる機会を増やしていきたいなと思います。



～お絵描き～

以前からみんなで 1 枚の模造紙に思い思いの絵を描いたり、自分の好きな色の画用紙を選んでお絵描きするのが大好きなふたば組のお友だち。今では最初のころに比べてしっかりとした筆圧で、広い範囲に絵を描くことができるようになりました。「何を描いたの～？」と聞くと、「ママと～パパと～くるまと～あんばんまん！」と、大きな声で何を描いたかを上手に話してくれるようにもなりました。部屋に飾ってみると、嬉しそうな様子で「〇〇かいたの！」とお母さんやお父さんに伝えている姿を見て、こちらも嬉しく思いました。



～担任の思い～

ふたば組での生活も残すところあと 1 ヶ月です。「できない」と何度も挑戦した着替え、「おいしいね」と友だちとお話を楽しんだ食事、節分の「びっくり鬼」、泣いたり笑ったりたくさんしましたが、どれもとても懐かしくいい思い出だったなと感じています。出来ることがたくさん増え、つぼみ組に向けて、食事・着替え・排泄等の生活面をはじめ、お友だちと言葉のやりとりあそびなどの積み重ねも 1 日 1 日に大切にしていきたいと思います。まだまだ甘えたいと言う気持ちと葛藤しながらも「じぶんで！」と頑張る姿を側で見守り、「できた！」をしっかりと感ぜられるように関わっていきます。またひとつお姉さんお兄さんになったみんなで新学期を迎えられるのを楽しみにしています。

猪塚 明友美・西口 智子・谷角 早紀

ねらい：「ひとつ大きくなることを楽しみにする」

う た：「かえで保育園園歌」「春がきた」「ととけっこー」

2月では、少しずつ幼児クラスにむけて、「自分の力でやってみることを目標にいろんなことに挑戦してきました。自分で服を畳んだり、ランチルームでご飯をたべたり、つぼみ組だけで川添公園までお散歩に行ったり…。今、挑戦していることに自信を持って「お兄さん、お姉さんになることが楽しみ！」とみんなが思ってくれるように、そばで見守りながら子どもたちを信じて任せていくことを大切にしていきたいです。

“川添公園へお散歩”



4月当初では交通公園に行く事も大変で、帰り道には眠たくなってしまってお友だちもいましたが、今ではお友だちと手を繋いでしっかり歩くことができるようになってきました。何度もお散歩を重ねて、少しずつ長い距離を歩くことが出来るようになってきましたので、2月では川添公園までお散歩に行ってきました。保育園からは少し距離もあるため、時間もかかりまし

たが、無事みんなで歩いて行くことが出来ました！着いた途端大喜びでブランコに乗る子、すべり台を滑る子、とにかく走り回る子、と様々でした。帰り道でもしっかり手を繋ぎ、「壁ぴたんこしてね。」（端によって歩こうね）「信号だよ！手あげて！」など子どもたちが声を掛けあうほどでした。しかし保育園に着くと、力が抜けたように「疲れたあ～」と言ってご飯をモリモリ食べてぐっすり眠っていたつぼみ組。ひとつ大きくなってどこまで歩けるようになるか楽しみです。

“ルールのある遊び”



いま、つぼみ組では「果樹園ゲーム」や「テディメモリー」、「ボール運びゲーム」など簡単なルールのある遊びが大人気です。登園と同時に「いーれーてー！」と輪の中に入っていくほど、みんな夢中のように。始めたばかりの頃はルールを覚えながらで、難しかったようでしたが、今ではちゃんと順番がわかり、お友だちに教え合う姿も見られます。



ボール運びゲームでは、チームに分かれてどちらが早くボールを運ぶことができるか競争します。毎回熱戦が繰り広げられ、子どもたちも真剣です。何度も繰り返すことで自分のチームが負けても拍手をして一緒に喜ぶ姿も見られるようになってきました。このようなルールのある遊びを通して「友だちと遊ぶ楽しさ」を感じるとともに、「決まり事」を守りながら楽しむことを経験してほしいと思います。

“担任の思い”

つぼみ組で過ごすのも、残すことあと1ヶ月となりました。4月当初を思い返すと本当にいろんなことができるようになったなあと感じる毎日です。乳児から幼児へと大きく成長していく大事な時期ですが、自ら排泄に向かっていたり、服を1枚1枚丁寧に畳んでいたり、お皿がピカピカになるまで丁寧に食器を扱えたり、目で見えてわかる成長がたくさんあります。それと同時に遊び方もだんだん変わってきて、遊びの中でお友だちの気持ちに気付いたり、自分は我慢しておもちゃを譲ってあげる姿も増えてきました。目で見えて分かる成長も大切ですが、目には見えない心の成長も見逃さず大切に育てていきたいです。

林 奈津美・足立 真裕子・星加 由美子

ねらい：「ひかり組になることを楽しみに過ごす」

う た：「ひなまつり」「きみたちきょうから友だちさ」「園歌」

ひかり、だいち組の合奏や劇を見た子どもたちから「いぶきさんもしたい!」「たいこ叩いたり、三角(トライアングル)もしたい!」とせいちょう発表会で使っていた楽器や劇の小道具を使って遊ぶことが増えたいぶき組。教えてもらったことをひかり、だいち組と共に一緒に遊んだり、クラスの子もたちで遊びながら、お兄さん、お姉さんへの憧れを抱きながら過ごす毎日です。



“芽が出た!!”

朝のお集まり後、クラスで歌を歌っていると「そういえばどんぐりって…」「芽でてるかな?」とどんぐりが置いてある場所に行くと「あ!芽でてる!」と土の中から芽が1つぽつとでていました。「せいちょう発表会の歌聞いてたかな?」「だから芽でてきたかな」と子どもたちのイメージがどんどん溢れてきました。「やっぱりお水あげてたから」「なす枯れたのもいれてたから元気になったのかな」とお水をあげながらも分析していました。「みんなのもでてくるよ」「もうちょっとでてきそう」という声も…もっと芽がでてこないか待ち遠しく眺める子、よかったねと一緒に共感できる姿がみられました。



“劇あそび”

せいちょう発表会が終わり、クラスでは劇あそびからかそくあそびとごっこ遊びがひろがっています。始めはいろんなクラスの劇あそびの絵本を読んだり、各クラスの小道具を使って「ペったんぺったんねずみのもちつき〜」「〇〇ちゃんの役するね」「箱のマジックする!」とひかり、だいち組の劇あそびを楽しんでいました。今ではその小道具を組み合わせて家族ごっこが流行中。「じゃあ今日は〇〇ちゃんがお母さん、〇〇くんはお父さん」「お仕事いかなきゃ」「ごはんつくってるからね」とそれぞれちいさなお父さんお母さんになりきっています。これからどんな展開になるのか・・・と楽しみにできる遊びです。



“担任の思い”

友だちのどんぐりから芽が生えたことに「芽でてきたよ」「よかったね」「〇〇くんのもでてくるかな」「お水あげたらでてくるかもね」と話す姿から友だちの芽がでたことに“よかったね”と一緒に喜びを感じることができました。その感情から周りにいる子への期待にも自然と繋がっているように思いました。この一年でいろんな事を経験、発見して出来るようになったことも増えました。思ったことを“言葉”で伝えること、“みんなで楽しむこと”もひかり組への楽しみや期待を持ちつつ、残りの1ヶ月を過ごしていきたいと思います。

日笠 加菜

ねらい：「だいち組になることを楽しみに待つ」

う た：「てをつなごう」

雪あそび、公園への散歩、園庭での鬼ごっこなどこの1ヶ月は、寒い日もありましたが汗をかく程に身体を動かして遊ぶことができました。あっという間にひかり組として締めくくりの1ヶ月となりました。「てをつなごう」の歌詞のなかにもある通り、「てをつなぐってまるでまほうみたいだね」のようにみんなで手を繋いで顔を見合わせて笑い合って遊べる時間を大切にしたいですね。

“だいち組からのお願い”

ある日の朝、だいち組から急に話があると言われ、ひかり・だいち組でお集まりをしました。すると、だいち組から「ぼくたちはもう少しで小学校に行ってしまうから、生き物のお世話をしてほしい」というお願いでした。お願いされたということで二つ返事で「やりたい!」と答えたひかり組でしたが、お世話の話だけでなく今までお世話ができなくて亡くなってしまった生き物もいるということも教えてくれました。すると、「…飼えないかもしれない」という答えに大きく揺らいだ子どもたちがいました。担任が「どのような話だったのか教えてほしい」と伝えると全員が一言ずつ話し、教えてくれました。「ザリガニのお世話をしてほしい」「お世話ができなくて死んじゃった生き物もいる」「ひかりさん16人で話し合って決めて」と教えてくれました。

“ひかり組の話し合い”



その日からザリガニのお世話についての話し合いが始まりました。はじめに「飼いたい」か「飼えない」のかどちらか尋ねてみました。すると3分の1が「飼いたい」3分の2が「飼えない」でした。理由を聞いてみると飼いたい子どもからは、「このままザリガニを放っておくのは可哀想」「だいちさんがいなくなったあとも大きくしてあげたい」という意見でした。飼えないと手をあげた子どもたちからは、「お世話を忘れてしまいそう」「お世話が難しそう」「忘れて死んじゃったら悲しい」「ザリガニを持ってないからお世話をしあげられない」としっかりと考えて出てきた答えということが感じられました。飼いたい子と飼えない子の意見を言い合っても平行線で進まなかったの

で、飼えないと言っている子が悩んでいることは解決できるのかを子どもたちに尋ねてみると「忘れないようにするには、紙に書いてお部屋に貼っておけば忘れない」という案に全員が納得し、少し飼えないと言っていた子どもが減りました。ですが、「持てない」「お世話が難しそう」ということで、まずは第一弾「お世話をみせてください」とだいち組にお願いをして見せてもらうことにしました。水換えの仕方に興味津々でみせてもらい、個々に「できそう」と感じた子もいたようでした。まだまだ飼うか飼えないのか決めるまでに少し時間はかかりそうですが、一日の様子にて近況報告をさせていただきますね。

個性溢れるパワフルな子どもたちでひかり組がスタートしました。兄弟喧嘩のような小さなトラブルは毎日ありましたが、その度に自分の気持ちを素直に話すことを大切にしてきました。トマトをきっかけに年下の子を思いやる気持ちや運動発表会を通して友だちと一緒にすることの楽しさを感じてくれていたように思います。この1年を通して『考える』をテーマに過ごしました。締めくくりの3月に「お世話について」話し合う機会ができました。今回は、時間がかかったとしても子どもたち一人ひとりがそのことについて考えられるようにしたいと思っています。憧れのだいち組への期待を胸に今を思いきり楽しみたいですね。

須藤 聖美

～だいちぐみ～

ねらい：「新しい生活に期待をもって過ごす」「ありがとうの気持ちを伝える」

う た：「海の声」、『卒園式のうた』

それぞれの目標を決め、幼児クラスの部屋に掲げていますが、毎日のように取り組み出来るようになった子もいます。友だちの様子を見て刺激を受けたり、「一緒に頑張ろう」と教えてあげる子まで出てきました。「ねえ、河本先生はこま回せるようになったん？」とチェックを受けることも…。一つ出来るとそれがまた自信に変わり、新しいことを始める勇気となっているのが嬉しいです。

“だいち組として”

2月に入ってから園外に出かけたり、交流をしたりと忙しい毎日をご一緒させていただいちさんですが、その中でも“卒園”を意識して、今保育園にいるお友だちのために出来ることはないか、考えていました。すぐに上がったのが“たろうたち(ザリガニ)のお世話”“お米とぎ当番”“お世話当番”どのように伝えるのか、ひかりさんに託しても良いのか、よくよく考えてお願いすることに決めていました。また別の日、お集まりが終わり部屋を見渡してみると、パン屋さんコーナーが散らかったままに…みんなが外あそびに出た後でしたが、「もう…仕方ないなあ」と言いながら、最後まできれいに片づけてくれました。「いぶきさんももうすぐひかりさんになるけど、大丈夫かな…ちょっと心配だな」そんな言葉もぼつりと聞こえてきました。もちろん、“だいちさん、しっかり！”と思う出来事もありますが、気持ちはまるで本当のお兄さんお姉さん。立派にだいち組としてみんなのことを想ってくれていると感じました。



“ありがとうの気持ち”

卒園式のうたを歌ったり、言葉をみんなで考えていると、だいち組として過ごす時間も残りわずかだということを感じさせられます。「卒園式って、何のためにあるのかな？」という話から始めました。「う～ん…小学校に行くため」「小学生になるから」次への期待や前向きな言葉が聞かれました。ただ、色んな人のおかげで大きくなったこと、周りの人への“ありがとう”の気持ちも感じられればという思いもあり、「もしも、保育園にお友だちも誰もいないって考えてみて。どうかな」と投げかけてみました。「お友だちがいなかったら？楽しくないよ」「ご飯も食べられなかった」「寂しいと思う」周りにいてくれる人の大切さに気づき始めただいちさんでした。「お友だちとはけんかもしたけど」「小さいクラスの時、〇〇くんといっつもけんかしてたな」「うん、してたしてた」「叩かれて痛かったわ」「へへっ」「でもけんかするけど、どっちもごめんねって言って、すっきりしたよ」「笑ったりしてすぐにまた遊んでたよね」思い出話に変わるにつれ、だいちさんの表情が優しくなっていました。次におうちの方の話になり、「どんなことをしてもらったかな」と尋ねてみると、「寝る時一緒にお布団に入ってくれる」「赤ちゃんの時、おっぱいを飲ませてくれた」「泣いてる時、よしよししてくれた」「やりたいことがある時、一緒に考えてくれる」「抱っこしてくれる！」子どもたちの言葉からは、おうちの方の想いが溢れていました。



“担任の思い”

一日、一日と小学校への期待が膨らむと共に、新しい世界へ踏み出す不安もあつたりと、色々な想いが駆け巡っているだいち組です。“もうすぐ小学生だから”その一言が子どもたちの心にぐっと緊張ををかけてしまわないように、過ごしていきたいと思います。

この1年間、色々な場面でお子さんの様子をお伝えしてきました。4月のかえでゆうびんでお伝えしました“それぞれの個性が光るだいち組”が、今では“それぞれの個性を認め合うだいち組”に成長してくれたのではないのでしょうか。残りのかえで保育園生活も、だいちさんらしく！“ドキドキできた”と“ありがとう”の気持ちを大切に過ごしていきます。そして、だいち組と私たち保育者のことを信じて、温かく見守って下さった保護者の方々との時間も、大切に過ごしていきたいです。

河本 彩奈

[保護者の方からのおはなしコーナー]

「ママ、今日も延長？ぼく延長好きやから、ママお仕事がんばってね！」と言って応援してくれます。

延長保育では、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒にゲームしてくれたり、先生方とゆったりとした特別な時間を過ごさせてもらっています。

いぶき組 みつえさん

つぼみ組から転園した娘。最初は環境の変化に慣れるのが大変で毎日大泣きをしていましたが、今では私よりも先に玄関を出て、「いくよ〜！」と声を掛けてくれるまでに成長しました。

4月からはだいち組となり、園での生活も残すところあと1年。この1年が充実した1年になるように、娘との時間を少しでも多くとれるように心掛けています。

ちょっとしたことで泣いたり笑ったり、毎日忙しいですが、この忙しさを娘とともに楽しめたらと思います。

ひかり組 めぐみさん

ふたば組に入園した時は、1人で歩けなかった娘も4月からはひかり組です。なかなか保育園でのことを娘の口からきけなかったので心配していましたが、最近では「あのさ！あのさ！」「〇〇ちゃんと〇〇くんと遊んで楽しかった！」と嬉しそうに話してくれるようになりました。

一生懸命言葉を考えながらお話してくれる姿を見て、成長したなーと実感します。あと2年保育園での生活を楽しんでほしいです。

いぶき組 まりえさん

甘えん坊で私にベッタリな息子が4歳で弟が出来てお兄ちゃんになった時、私の心配をよそにとっても優しくて頼もしいお兄ちゃんに成長してくれました。2つ上のお兄ちゃんとも、ケンカもするけど大の仲良しで毎日楽しく遊んでいます。1人で遊ぶ事も好きで、保育園で覚えてきた折り紙やけん玉、縄跳びなどをして遊んでいます。しかし、ふと気が付くと私の近くに来ていて、「ねえママあのね？」と保育園でしたことや、友だちの話、昨日見た夢の話などたくさんしてくれます。私がお兄ちゃんの勉強を見ている時や弟の世話をしていると、それをじっと見つめていて、私の手が空くのを待っている姿を見て、やっぱりまだまだ甘えたいよねと感じました。

だいち組 めぐみさん

小学生に入学する心の準備が少しずつ出来ています。末っ子で男の子でまだ甘えたいところがあるようですが、私やお姉ちゃんに対する対応を見ていると、重い荷物を「ぼくが！」と言って持ってくれたり、優しい言葉を以前に増して声を掛けてくれるようになりました。

だいち組 ゆみさん



～お台所から～

いつの間にか3月になりました。残す所も後一か月ですね。私は今年一年を通してかえで保育園の子どもたちに是非感じてほしい事がありました。それは出汁のうま味がわかるようになってほしいということです。園でも毎回、心を込めて出汁をとっています。出汁は日本特有の旨みを感じられる「食」のひとつです。その出汁の魅力について紹介したいと思います。

かつお・こんぶ出汁

こんぶの旨み・・・グルタミン酸

かつおの旨み・・・イノシン酸

グルタミン酸とイノシン酸の2つの旨みが合わさる事で食べ物には「相乗効果」が生まれます。2つが合わさる事で旨みが倍増する事を「相乗効果」と言います。昆布のグルタミン酸は主に植物系に含まれています。かつおのイノシン酸は主に動物に含まれています。旨みは他にもたくさんあります。

主な旨み成分について紹介したいと思います。

グルタミン酸・・・トマト、いわし、牛肉、パルメザンチーズ

グアニル酸・・・干ししいたけ

イノシン酸・・・鯖、カツオ、いわし、豚肉、牛肉

コハク酸・・・貝類

植物系の旨みと動物系の旨みが合わさる事で「相乗効果」が生まれ食べ物のおいしさが倍増するのですね。

3月と言えばひな祭りがありますね。ひな祭りは日本の行事。かえで保育園では毎年出汁を効かせたすまし汁を提供しています。かえで保育園のすまし汁はシンプルですがとってもおいしく子どもたちも大好きです。



※このレシピは切り取ってお使いください。

✂ 切り取り

<すまし汁>

約4人分

水 : 1000 cc

花かつお : 30g

昆布 : 20g

飾りかまぼこ 2枚(一人分)

糸三つ葉 1つまみ(一人分)

うすくち醤油 大さじ1.5

塩 小さじ1/2

みりん 大さじ2

<作り方>

①鍋に水 1000ml を入れ、昆布を水に30分ほどつけておく。30分したら火にかけて、沸騰直前まで沸かす。

②①の火を止めて花かつおを入れる。かつおが沈んだらザルで出汁をこす。
※かつおは浸けすぎるとエグ味が出てしまいます。

③②の出汁をもう一度鍋に戻しみりん・しょうゆ・塩を入れる。

④味が整ったら飾りかまぼこを浮かせて、3cm 幅くらいに切った糸三つ葉を乗せて完成。

人気メニュー
紹介





- 4日(金) 3～5歳児で酒蔵見学に行きます。ご参加の保護者の方々は、3グループに分かれて頂きます。
- 19日(土)は卒園式です。ひかり組はだいち組の門出を一緒にお祝いします。めばえ～いぶき組のお子様は家庭保育の協力をお願いします。
- 22日(火)より進級クラスで過ごします。1歳児は2階の保育室で過ごします。
- 24日(木)はお別れ遠足です。(お弁当をご用意ください)
- 26日(土)は新年度準備と職員会議を行います。また、厨房は業者による清掃、点検を行いますので使用できません。お手数ですが、保育希望の方はお弁当の持参をお願いします。家庭保育にご協力よろしくをお願いします。
(リフレッシュ保育・延長保育はありません。)
- 30、31日は新年度、入園式準備のため日割り延長は受け付けませんのでご注意ください。
- 4月1日は入園・進級式です。(進級児は通常保育)

こんなことしたよ♪

2月10日(水) だいち組・ひかり組は六甲スノーパークで雪あそびをしました。みんなでそりで遊んだり、美味しいカレーを食べたり、雪合戦もしました。とても思い出に残る1日になりました。



～ダイコン収穫～

だいち組が育てていた大根がついに収穫期を迎えました。「まだかなまだかな？」と収穫を楽しみにしていたので、大切に育ててきた大根を収穫する時の子どもたちの表情は喜びや達成感で溢れていました。収穫した大根は「切り干し大根」や「ふろふき大根」「漬物」にし、みんなでいただきました。自分達で育てた大根でのクッキングはとても美味しい料理が出来ました！



- 新年度の必要な物品を購入していただきます。申し込み期間が短いのでご確認ください。また、クラスによって必要な物が異なりますので掲示物や別紙を参考にご確認ください。
- 進級移行のため、3月22日よりお部屋の移動があります。朝の準備や荷物の置き場所、帰る用意等を各クラスよりお伝えしていきますので、ご確認ください。詳しい日程はポップにてお知らせします。また、進級に向けて3月18日までにお子様のロッカー内を整理し、名前、サイズのご確認をお願いいたします。



<3月の予定>

- 2日(水) ひな祭り
- 3日(木) 絵画(だいちのみ)
体操(つぼみ～ひかり)
- 4日(金) 酒蔵見学(幼児クラス)
- 8日(火) 音楽
- 10日(木) 体操
- 11日(金) かえでカフェ
- 14日(月) 月例健診
- 15日(火) お誕生会
- 16日(水) お別れパーティー
- 17日(木) 体操
- 19日(土) 卒園式
3歳以下のクラスは家庭保育となります
- 22日(火) 移行保育開始
- 24日(木) お別れ遠足(全クラスお弁当日)
体操(めばえ・ふたば参加します)
- 25日(金) ウエル保育園との交流会
阪急仁川ウエル保育園に行きます
だいちのお話会(17:30～19:00)
- 26日(土) お弁当日
新年度準備・会議のため家庭保育のご協力をお願いします
- 31日(木) 体操はお休みです

<4月の予定>

- 4月1日(金)
9時から入園式を行います。
新しい幼児の皆さんに歌を披露してもらいますので9時までに登園をお願いします。